大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

家具調トイレセレクト　はねあげ(L/H)
家具調トイレセレクト　はねあげワイド(L/H)
家具調トイレセレクト　はねあげ(L/H)トランスファータイプ
家具調トイレセレクト　はねあげワイド(L/H)トランスファータイプ

標準便座、　快適脱臭（標準便座）
ソフト便座、快適脱臭（ソフト便座）
暖房便座、　快適脱臭（暖房便座）

共通取扱説明書

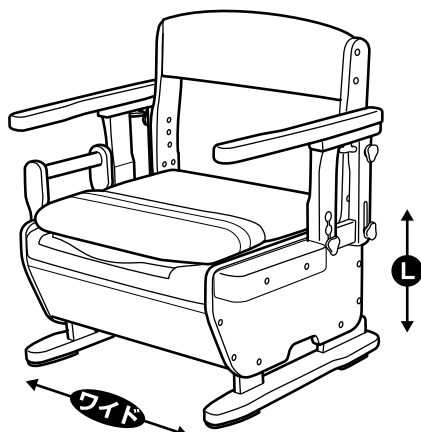
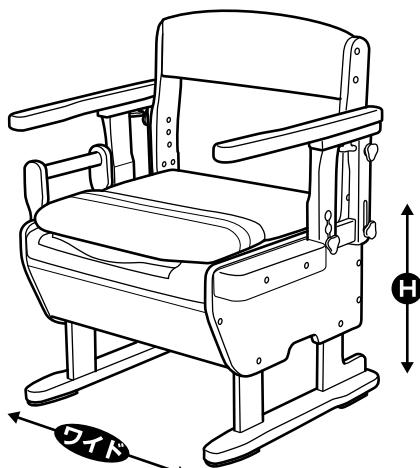
●このたびは家具調トイレセレクト　はねあげ 、はねあげトランスファータイプ　シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

最大使用者体重
100kg以下

※トランスファータイプ

L
はねあげ（L）

H
はねあげ（H）

L
ワイド
はねあげワイド（L）

H
ワイド
はねあげワイド（H）

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

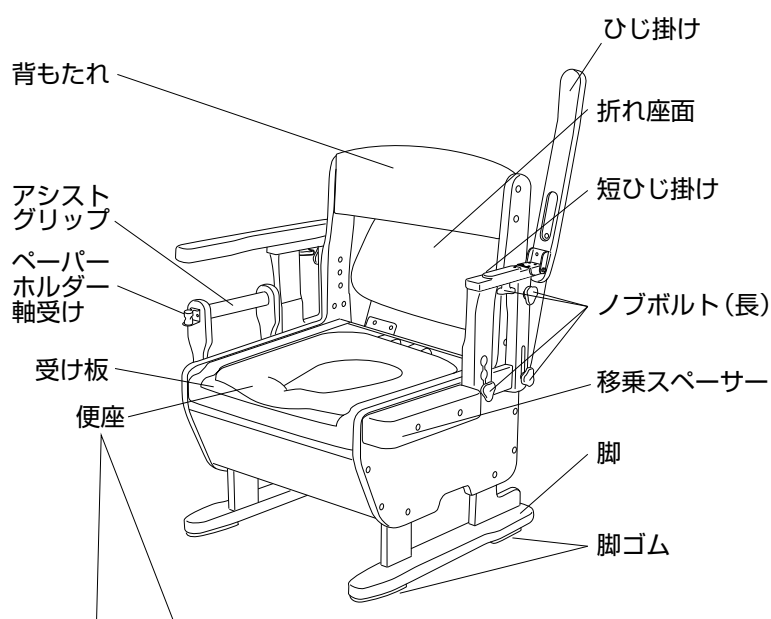
※暖房便座、快適脱臭・トランスファータイプをお買い上げのお客様は、それぞれのページもご確認ください。

●便座の種類/脱臭の有無

標準便座	プラスチック製便座
ソフト便座	やわらかいソフト便座
暖房便座	暖房機能の付いた便座
快適脱臭（標準便座）	脱臭タイプ
快適脱臭（ソフト便座）	
快適脱臭（暖房便座）	

※部品購入で便座を交換できます。
ただし、快適脱臭の後付けはできません。

各部のなまえ

■共通（本体）のなまえ

■商品寸法図（単位cm）

本体

便座から
18・21・24

(L)便座まで
30・33・36・39・42
(H)便座まで
38・41・44・47・50

42

(H)高さ 80〜92
(L)高さ 72〜84

幅54
奥行58

本体（ワイドタイプ）

便座から
18・21・24

(L)便座まで
30・33・36・39・42
(H)便座まで
38・41・44・47・50

48

(H)高さ 80〜92
(L)高さ 72〜84

幅60
奥行58

移乗スペーサー

29
6.5

アシストグリップ

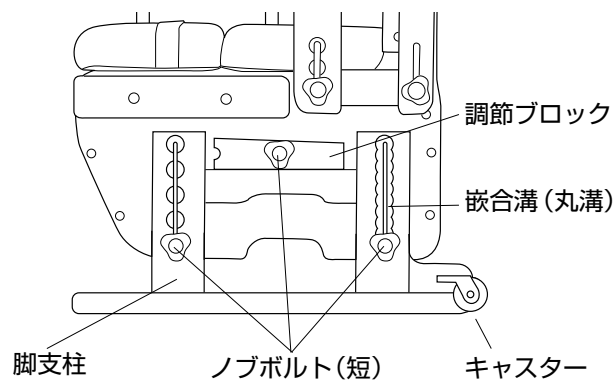
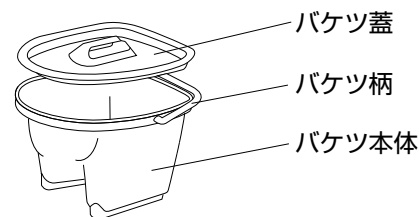
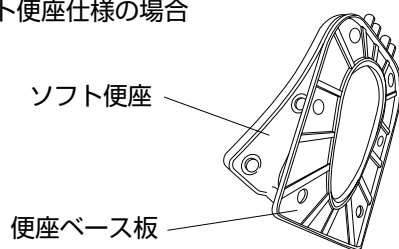
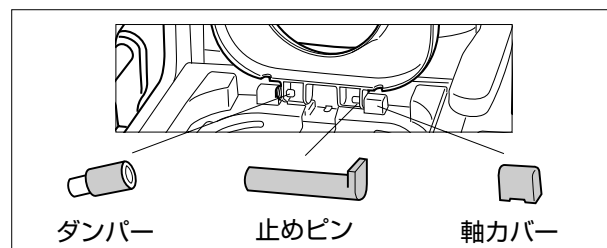
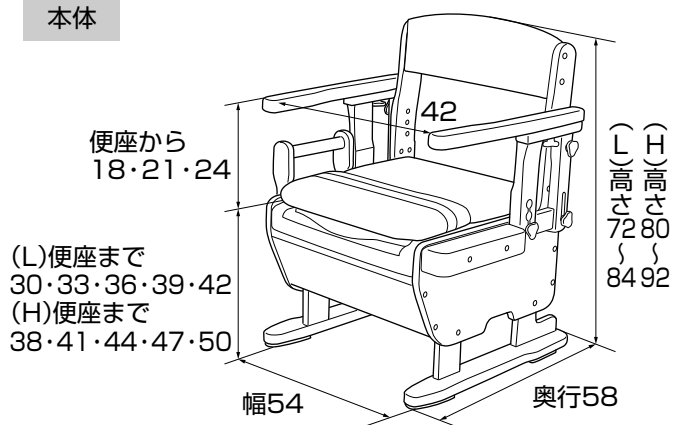
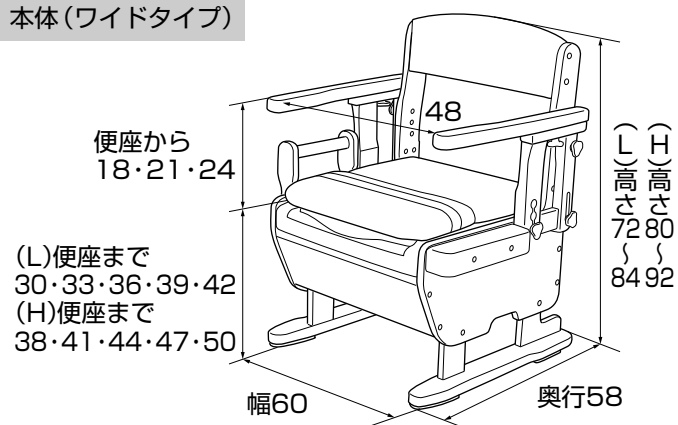
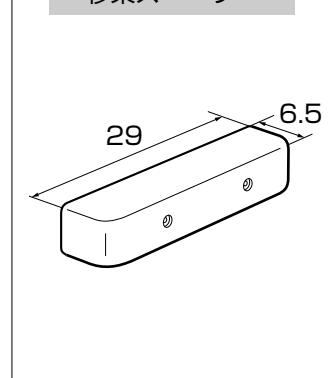
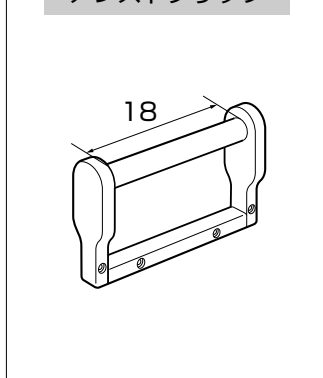
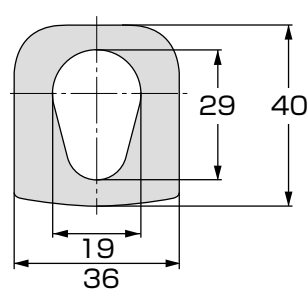
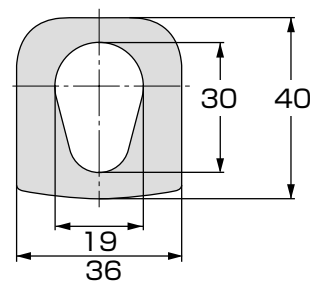
18

便座

〈標準便座/暖房便座〉

29
40
19
36

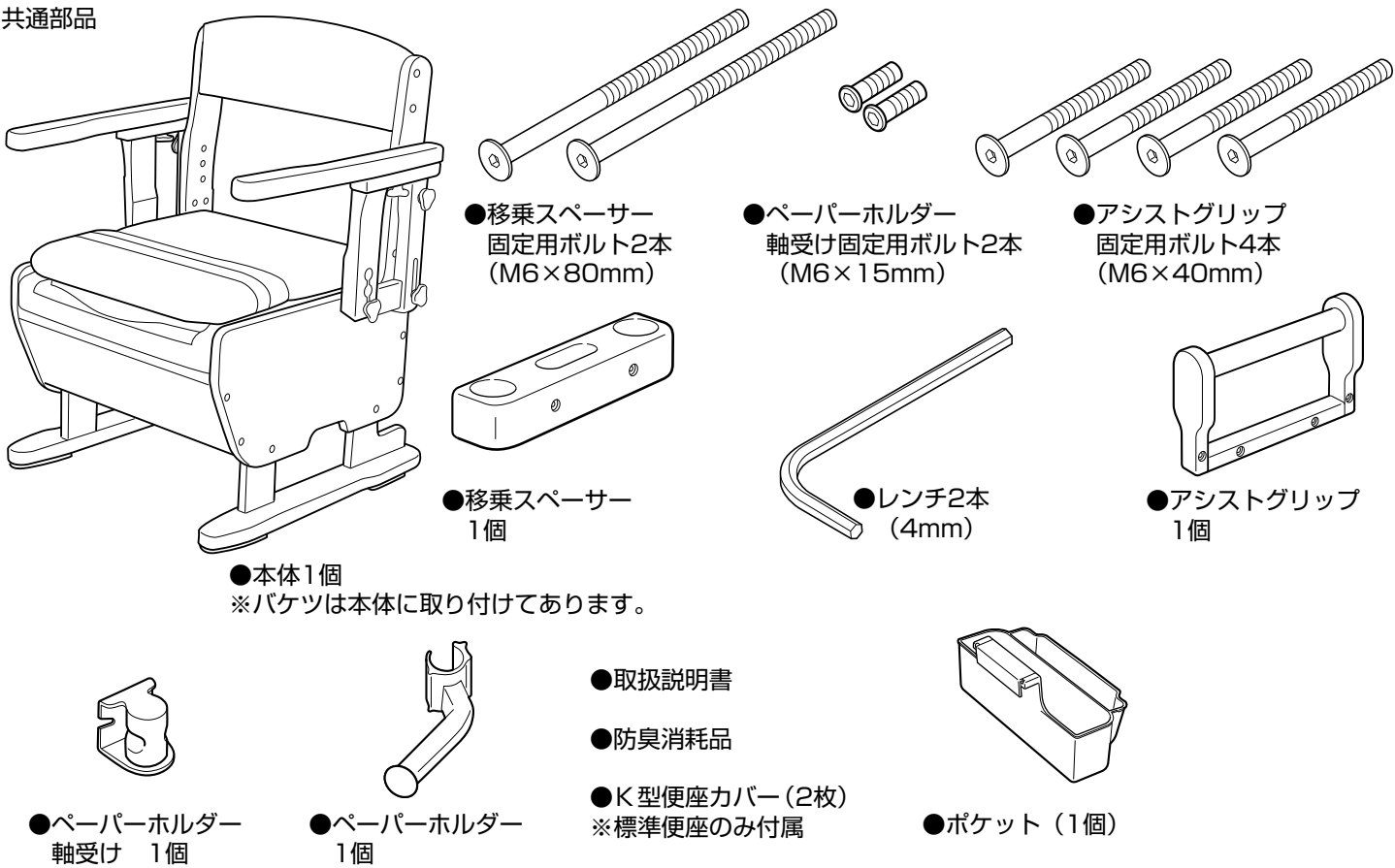
〈ソフト便座〉

30
40
19
36

各部のなまえ

■部品一覧

●組み立て前に同梱品をご確認ください。

※ご注意：お買い上げの製品によって同梱品が異なります。以下は共通の同梱品です。

※暖房便座・快適脱臭・トランスファータイプはそれぞれのページもご確認ください。

■仕様

ポータブルトイレ本体			
材質	構造部材		天然木（ラバーウッド）
	表面加工		ウレタン塗装
	張り材		合成皮革（PVC）
	クッション材		ウレタンフォーム
	受け板・バケツ		ポリプロピレン
	便座	標準／暖房便座	ポリプロピレン（抗菌加工）
		ソフト便座	ソフト便座：EVA樹脂（抗菌加工） 便座ベース板：ポリプロピレン
バケツ容量	10ℓ		

重量

単位：kg	はねあげ（L）	はねあげ（H）	はねあげワイド（L）	はねあげワイド（H）
標準便座	約17.8	約18.2	約19.3	約19.7
ソフト便座	約17.8	約18.2	約19.3	約19.7
暖房便座	約18.8	約19.2	約20.3	約20.7
脱臭・標準便座	約18.5	約18.9	約20.0	約20.4
脱臭・ソフト便座	約18.5	約18.9	約20.0	約20.4
脱臭・暖房便座	約19.5	約19.9	約21.0	約21.4

※トランスファータイプは約0.7kgプラスしてください

商品サイズ		
	はねあげ（L）：幅54×奥行58×高さ72～84cm	はねあげワイド（L）：幅60×奥行58×高さ72～84cm
	はねあげ（H）：幅54×奥行58×高さ80～92cm	はねあげワイド（H）：幅60×奥行58×高さ80～92cm

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

この製品は、室内で使用する為の「ポータブルトイレ」です。
それ以外の目的での使用はおやめください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

注意 誤った使いかたをすると「障害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

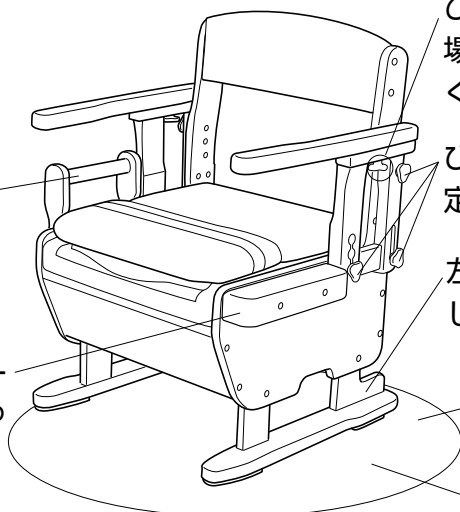
してはいけない「禁止」内容を説明しています。

使用前のご注意（必ず確認してください。）

必ず実行すること

正常な状態で使用してください。

正常な状態

- アシストグリップがしっかり固定されていること
- 移乗スペーサー・トランスファーボードがしっかり固定されていること
- ひじ掛けをはね上げて使用しない場合は、ノブボルトで固定しておくこと
- ひじ掛け支柱が本体にしっかり固定されていること
- 左右の脚を同じ高さに設定し、しっかり固定すること
- 平坦で直射日光に当たらない室内に置かれていること
- 近くに火気や水気がないこと

※ひじ掛けをはね上げずに使用する場合は、ノブボルトでひじ掛けを固定しておいてください。
※フィッティング（高さの設定など）は、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

絶対にしないこと

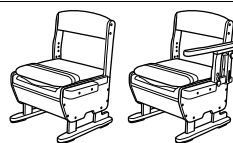
⚠ 警告

不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

・浴室内など湿気の多い場所　・ストーブ等火気が近くにある場所
・直射日光の当たる場所　・床が平坦でなく不安定な場所

不安定な場所や近くに火気や水気がある場所に設置すると、火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒し**けがの原因になります。**

正常でない状態では使用しないこと

脚、ひじ掛けを取り外しての使用、各部のネジがゆるんでいる状態等、正常でない状態で使用すると、**けがの原因になります。**

組み立て時のご注意（必ず確認してください。）

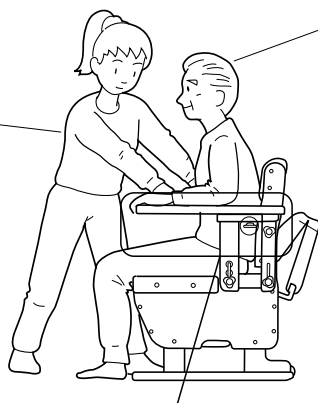
脚の高さ調節時は手をはさまないよう注意すること
開梱時は、ボルトがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいたらしめなおしてください
輸送時の振動や衝撃により、ノブボルトがゆるんでいる場合があります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

使用中のご注意

安全な使い方（必ず実行すること）

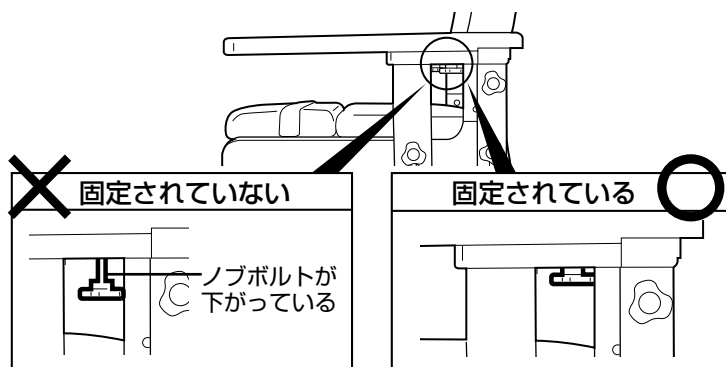
安全な使いかたをしてください。

安全な使いかた

ひじ掛けをはね上げずに使用する場合や、ひじ掛けに全体重がかかるような強い力が加わる場合は、ひじ掛けをノブボルトで固定しておくこと
ひじ掛けの破損の原因になります。

以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること

※ひじ掛けを支えに起き上がるとき

※ひじ掛けを支えに立ち座りするとき

絶対にしないこと

⚠警告

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損し、**転倒やけがの原因になります。**

製品に過度な力（背もたれを手すりがわりにする、ひじ掛けの上に腰掛ける、座面の上に立つ等）を加えないこと
本体の破損や**転倒、やけがの原因になります。**

座面の上に立たないこと
座面を折りたたんだ状態で座面に過度の力をかけないこと
本体が転倒したり、座面が破損し、**けがの原因になります。**

子供、幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

本体を移動させる時は、物をのせたまま移動させないこと
・人や物を座らせたまま移動させる　　・バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる
等、物を乗せたまま移動させると、**故障、けが、服や床を汚す原因になります。**

安全上のご注意 （必ずお守りください）

使用中のご注意

⚠ 注意

絶対にしないこと

落としたり強い衝撃を加えないこと
強い衝撃を加えたり、硬いものに当てたりすると**破損・凹みの原因になります。**

キャスターで本体を移動させる場合、無理な段差や凹凸面では行わないこと
製品が**破損する原因になります。**

ひじ掛け先端を持って、本体を持ち上げないこと
ひじ掛けが破損したり、**けがの原因になります。**

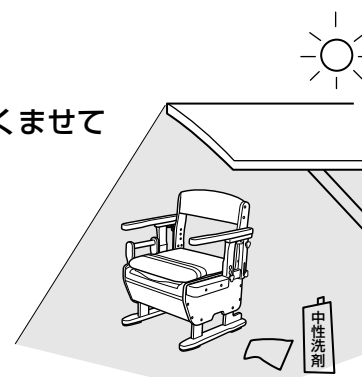
移乗スペーサーを使用している場合はベッドの高さを変えないこと
移乗スペーサーがベッドのフレームに乗り上げて、**転倒やけがの原因になります。**

お手入れ上のご注意

必ず実行すること

正しくお手入れをしてください

正しいお手入れの仕方

スポンジかやわらかい布に住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
便座・受け板は、本体から取り外すことができます。
快適脱臭タイプの場合、受け板、ダクト部分を分解して掃除することができます。

※詳しいお手入れ方法は25ページ～「お手入れの方法」をご覧ください。

定期的にボルトがゆるんでないか各部にゆるみやガタツキなど、異常がないか点検すること
本体が不安定となり、**けがの原因になります。**

各部の調節（高さ調節など）については、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
本体機能が正常にはたらかず、**けがの原因になります。**

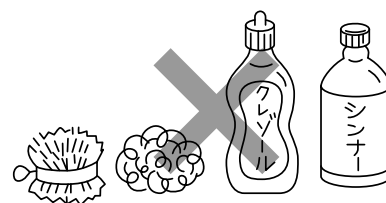
⚠ 注意

絶対にしないこと

直接水をかけて洗わないこと　木部分の劣化・**はがれの原因になります。**

次にあげるものではお手入れしないこと

- **塩素系洗剤**
- **酸、アルカリ性洗剤**
- **シンナー**
- **クレゾール**
- **その他製品を傷付けるもの**
- **タワシ**
- **研磨剤入りのスポンジ**
- **磨き粉**
- **塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒**

製品が劣化し、**けがの原因になります。**

組み立てかた（共通）

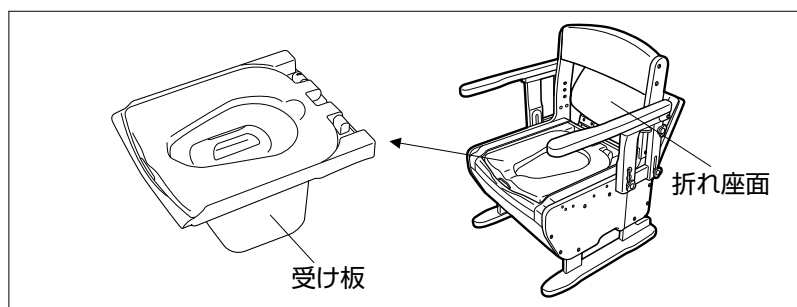
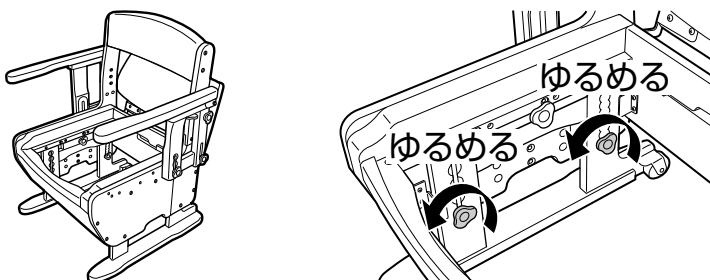
・ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。
・便座・ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。
・便座は水平状態と前傾状態（前下がりに約3°）を選べます。前下がりにすることで立ち上がりが楽になり、さらに前へ尿がこぼれにくくなります。（開梱時は水平の状態で取り付けています）

1 便座高さ（脚の高さ）を調節する

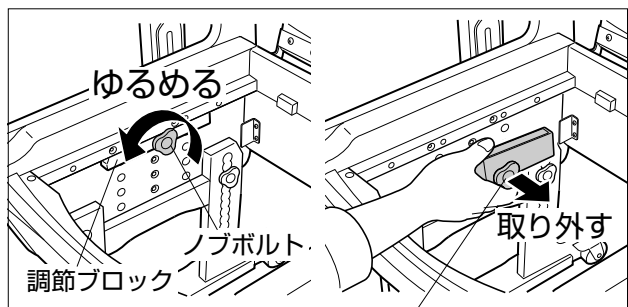
●便座高はそれぞれ、以下の高さに調節できます。

L脚	高さ　30・33・36・39・42cm　の3cm間隔、5段階に調節できます。
H脚	高さ　38・41・44・47・50cm　の3cm間隔、5段階に調節できます。

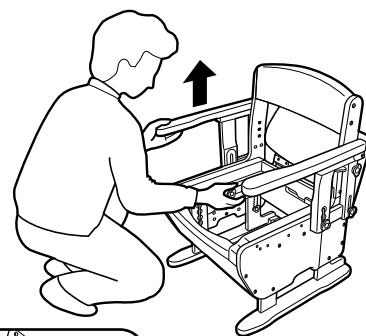
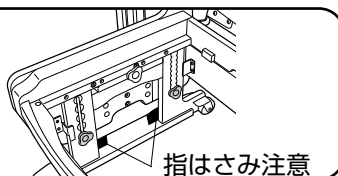
※開梱時は、脚は一番低い位置に取り付けています。（L脚タイプ：30cm、H脚タイプ：38cm）
ご使用になる方の症状や体格に応じて、便座の高さ調節を行ってください。

1. 折れ座面を上げて、
受け板を本体から外してください。

2. 脚の全てのノブボルトをゆるめてください。（右脚側、左脚側両方行う）
※ノブボルトはゆるめるだけ
（取り外さない）でスライドできます。

3. 調節ブロックの位置を、調節したい高さに変えてください。（右側、左側両方行う）

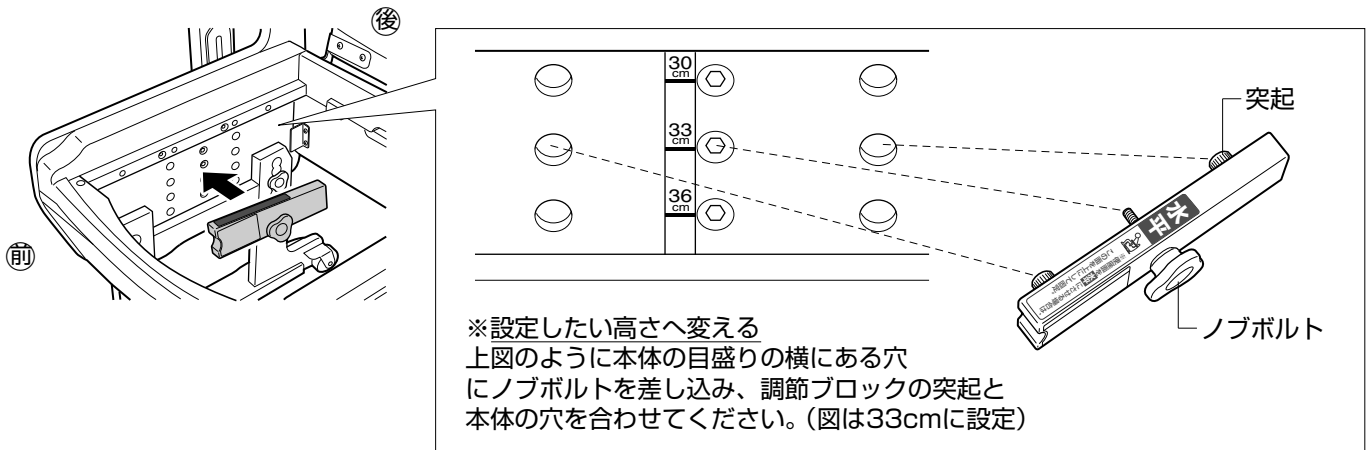
※便座を前傾する場合は、3-①からp.9 2 へ

①ノブボルトをゆるめて調節ブロックを本体から
取り外す。

ノブボルトは調節ブロックから
取り外さないでください。

調節ブロックを取り外しにくい場合は、
調節ブロックを取り外す方のひじ掛けを
持ち上げて作業してください。

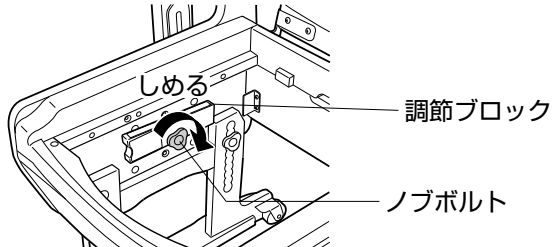
⚠ 注意

●調節中、右図の指挟み注意の部分で、
手や指をはさまないよう注意すること

組み立てかた（共通）

②取り外した調節ブロックの中央のノブボルトを本体の目盛りに合わせて差し込む。

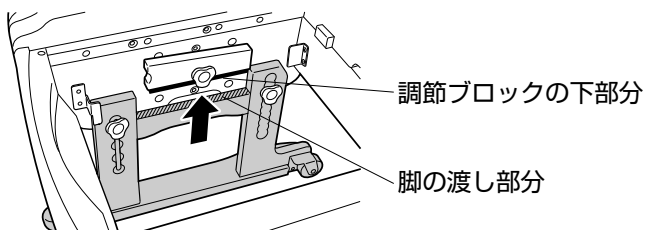
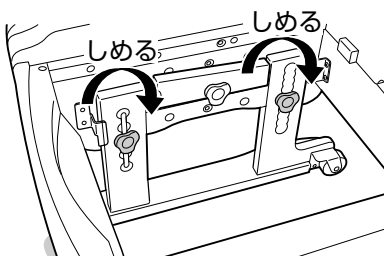
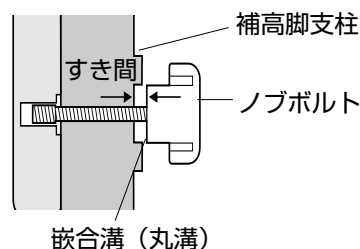
注意

●調節ブロックの切欠きの向きを、左右同じ向きに合わせること

切欠きの向きが異なっているのは座面角度の設定が左右異っている状態（片方が前傾・片方が水平）です。
角度が左右異なっていると、脚がしっかり固定できず製品の破損につながります。

開梱時は水平（下図）の状態で取り付けています。

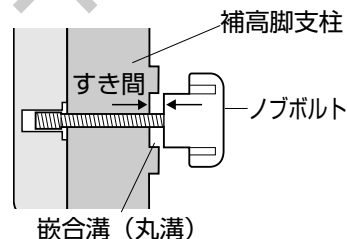
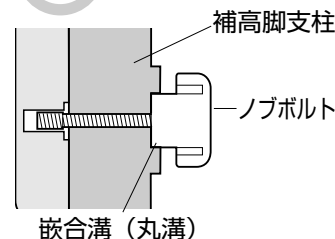
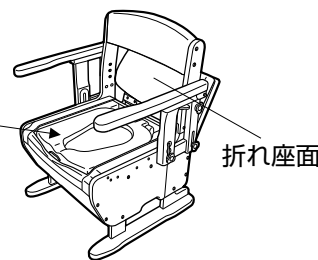
③ノブボルトをしめて調節ブロックを本体へ固定する。

4. 脚を調節ブロックまでスライドさせ、脚の全てのノブボルトをしめつけて固定してください。（左右）

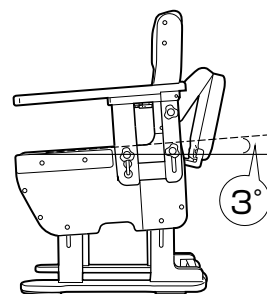
※下図のように、脚の渡し部分と調節ブロックの下部分が接する状態で、ノブボルトを脚支柱の丸溝に入れてしめ込んでください。

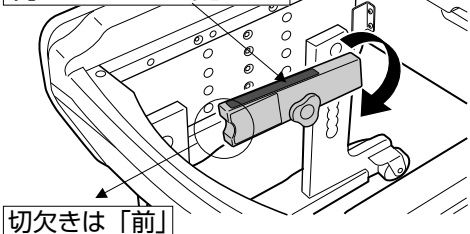
①脚を調節ブロックに接するまでスライドさせる。

②脚のノブボルトをしめる。

ノブボルトと嵌合溝（丸溝）にすき間がないように、しめ込んでください。

注意

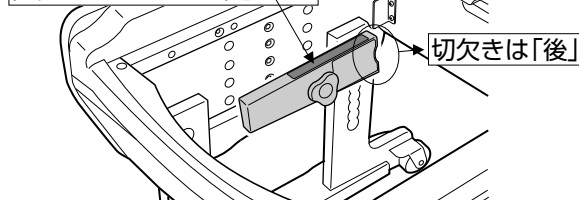
●**脚の渡し部分と調節ブロックの下部は、必ず接する状態で固定すること**
製品の破損につながります

●**左右の脚を同じ高さ・角度に設定し、しっかり固定すること**
脚が外れ、転倒やけがの原因になります。

●**脚支柱側のノブボルトを固定するときは、必ず嵌合溝（丸溝）の奥までノブボルトを差し込んでしっかりしめ付けること**
使用中に脚が下がり、転倒やけがの原因になります。

5. 最後に受け板を本体にセットしてください。

2 便座を前下がり（前傾）にして使用する

便座を前下がりにすると、排泄のしやすい前傾姿勢が取りやすくなります。
また、尿が少し下方向に出るので、前方への飛び散りを減らすことができます。

調節方法

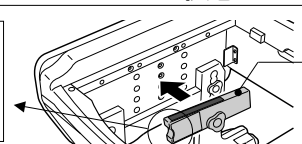
p.7の3-①で取り外した調節ブロックを上下反転させて本体に取り付け、調節ブロックに合わせて脚をスライドさせて固定します。

※調節ブロックは左右とも
「切欠きが前側＝青いシールが見える状態」にしてください。

前傾

※調節ブロックは左右とも
「切欠きが後ろ側＝黄色いシールが見える状態」にしてください。

注意

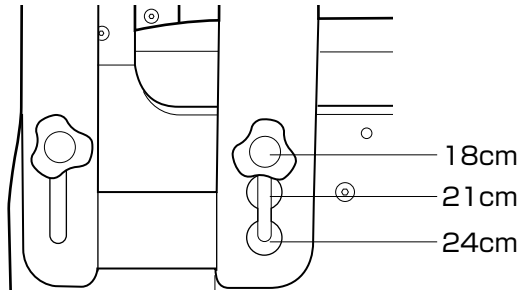
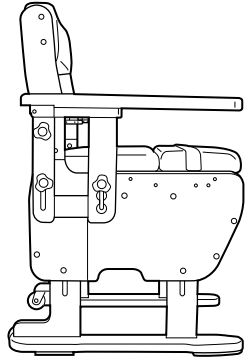
●**調節ブロック上面のシールの色は、左右必ずそろえること**

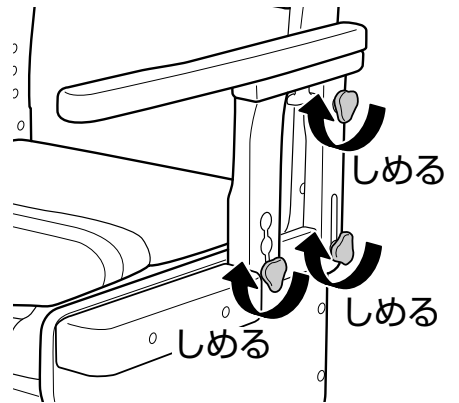
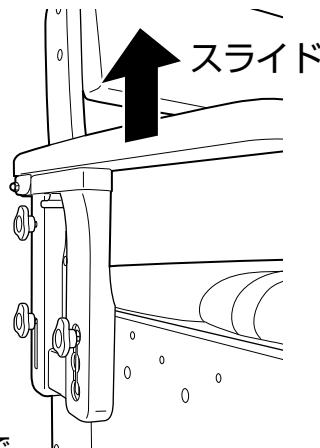
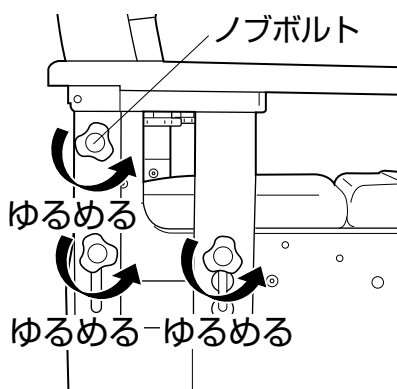
●**調節ブロック側面の切欠きの向きは、左右必ずそろえること**
片方は前傾・片方は水平の状態だと、脚をしっかり固定できず製品の破損につながります。

正しい状態

組み立てかた（共通）

3 ひじ掛けの高さを調節する

●ひじ掛けの高さは、3段階（便座から18・21・24cm）に調節できます。

※開梱時は、ひじ掛け高さは18cmに設定されています。
ご使用になる方の症状や体格に応じて、ひじ掛けの高さ調節を行ってください。

1. ひじ掛けのノブボルトをゆるめてひじ掛けをスライドし、調節したい高さに合わせてノブボルトをしめてください。

①下図のノブボルトをゆるめる　②ひじ掛けをスライドさせる　③下図のノブボルトをしめる

※ノブボルトはひじ掛けに取り付けたままでスライドできます

注意

●ひじ掛けはノブボルトで確実に固定すること

●ひじ掛けを取り外して使用しないこと

ひじ掛けや背もたれが外れ、けがの原因になります。

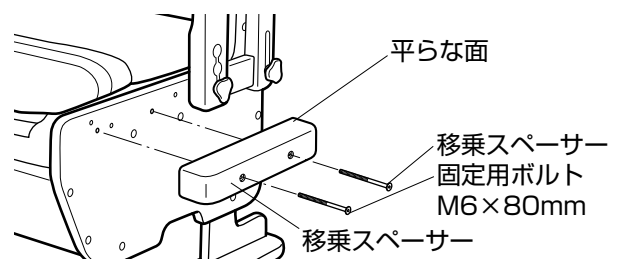
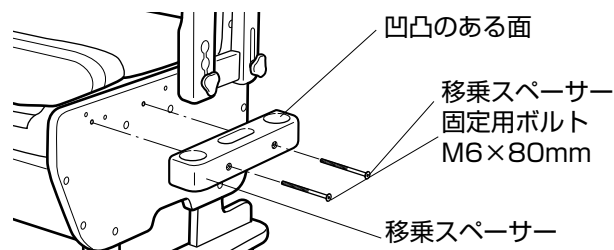
4 移乗スペーサーを固定する

●移乗スペーサーはベッドとのすき間を埋めるものです。本体の片側に移乗スペーサーを取り付けることができ、より安心して移乗できます。

●ベッドから乗り移る側に移乗スペーサーを取り付けてください。

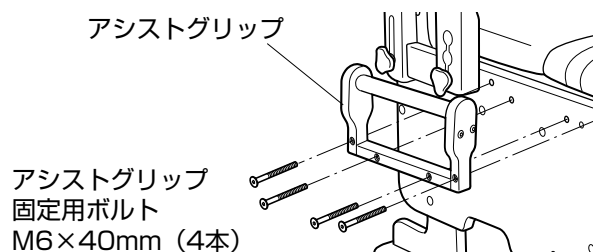
ベッドの位置に合わせて、取り付け位置を左右から選択し、本体側面のねじ穴に移乗スペーサー固定用ボルト（2本）で取り付けます。

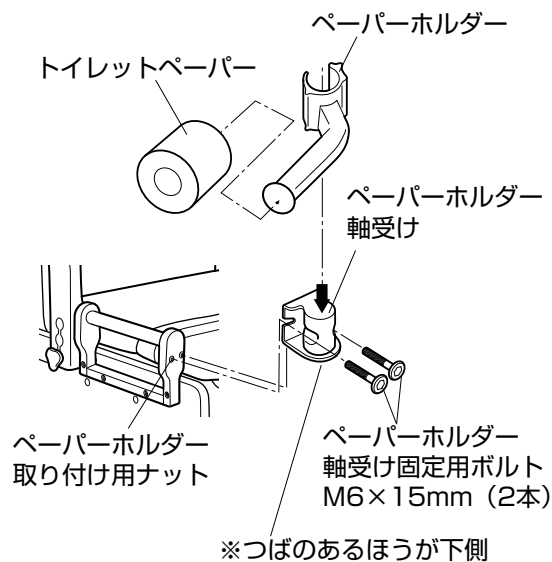
①移乗スペーサーとして使用する場合

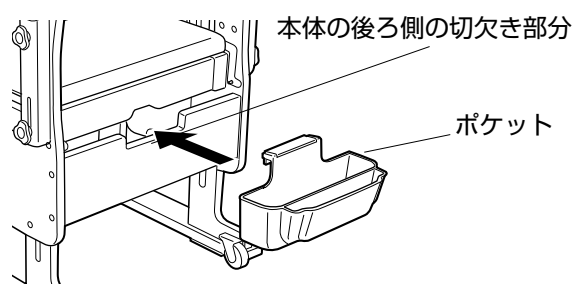
移乗スペーサーの平らな面が上になるように取り付けます。

②トランスファーボードを使用する場合
移乗スペーサーの凹凸のある面が上になるように取り付けます。

> ⚠ 注意
> **●移乗スペーサーは、付属の固定ボルトでしっかり取り付けること**
> 固定ボルトがゆるんでガタついた状態で使用すると、製品が破損し、けがや転倒の危険があります。

5 アシストグリップを固定する

●アシストグリップをベッドと反対側に取り付けることで、移乗するときにアシストグリップをつかんで体を引き寄せることができ、移乗しやすくなります。

移乗スペーサーを取り付けた反対側の本体側面にアシストグリップ固定用ボルト（4本）で取り付けます。
※移乗スペーサーと同じ側面には取り付けできません。

6 ペーパーホルダーを取り付ける

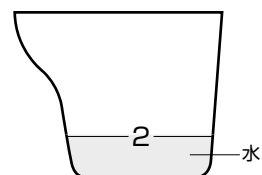
アシストグリップ前面のペーパーホルダー取り付け用ナットに、軸受けを軸受け固定用ボルトで取り付けます。（上下の向きに注意して取り付けてください）
軸受けにペーパーホルダーを差し込みます。

7 ポケットを取り付ける

ポケットは本体の後ろ側に取り付けることができます。
本体の後ろ側の切欠き部分に取り付けてください。

使いかた

1 ご使用の前に

●本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

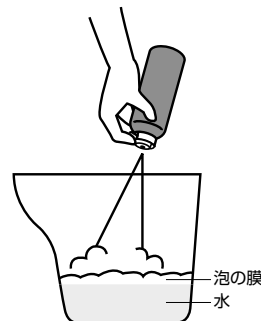
1. バケツに水を入れる

バケツに約2リットルの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。
※バケツに水が入っていない場合、防臭効果が減少します。

2. バケツを本体にセットし、折れ座面を開けて便座を上げ、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなど、トイレットペーパー以外のものは入れないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。

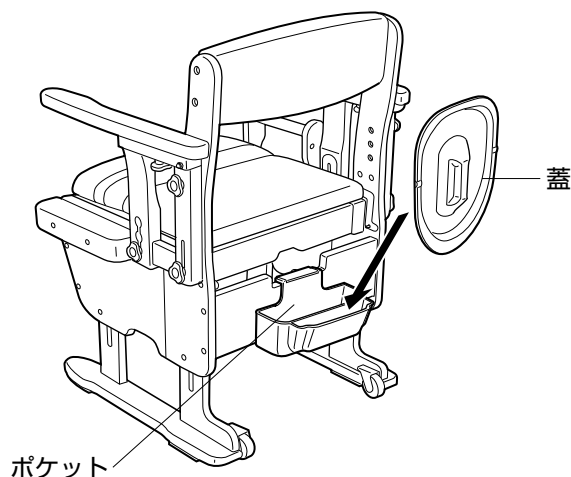
脱臭タイプ（快適脱臭）の場合

快適脱臭の場合は、付属の防臭剤フォームタイプを併用することにより、自動停止後も長時間防臭効果が持続します。
※必ず無香料の消臭アイテムをご使用ください。

●快適脱臭をご使用の場合、無香料の防臭アイテムを使用すること
脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

2 汚物の処理方法

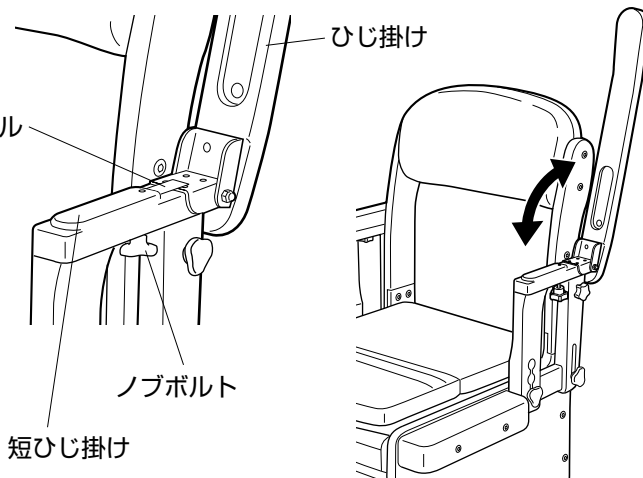
使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。
※防臭アイテムも流せます。

3 ポケットにバケツの蓋を収納する

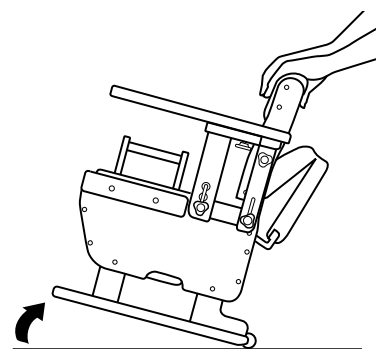
バケツの蓋の上面が手前に向いた状態で、蓋の先端を下にしてポケット外側の収納場所に差してください。

使いかた

4 ひじ掛けのはね上げかた

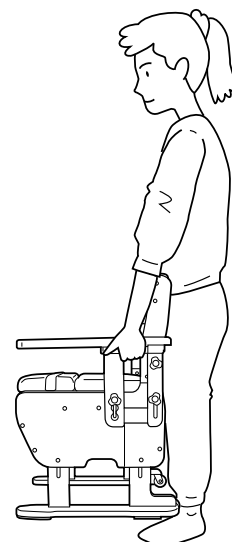
●開梱時は、ノブボルトをしめ付けてひじ掛けが動かない状態になっています。

ひじ掛け下のノブボルトをゆるめて、ひじ掛けを上げ下げして使用してください。

注意
●ひじ掛けを下げる場合、ひじ掛けと短ひじ掛けの間で手や指をはさまないよう注意すること
●ひじ掛けをはね上げない場合は、ノブボルトを締めて固定すること

5 キャスターの使いかた

●ポータブルトイレを移動させるときはキャスターをご使用ください。
※ひじ掛けを持って移動させる場合は、ひじ掛けがロックされているか確認してください。
※移動の際、バケツの中身がこぼれないようご注意ください。

注意
暖房便座・快適脱臭の場合
●移動時、ACアダプター・電源プラグは本体から抜くこと

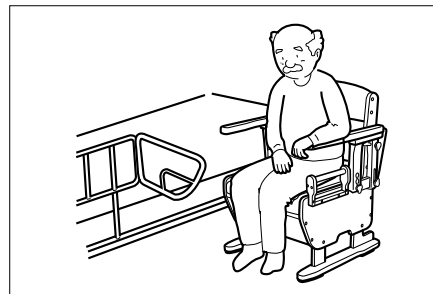
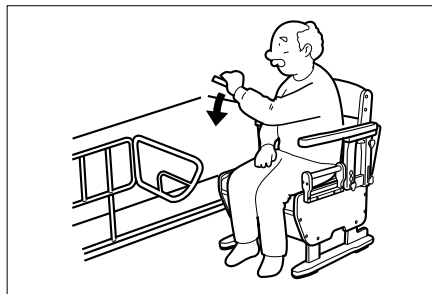
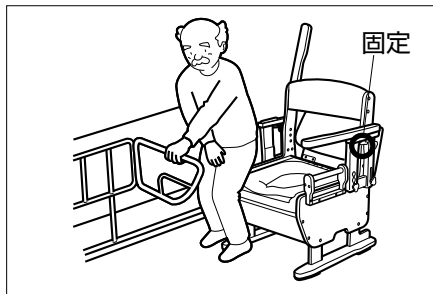
6 製品の持ち上げかた

●段差などでキャスターが使えず製品を持ち上げる場合は、図のように持ち上げてください。

注意
●ひじ掛けの先端を持って持ち上げないこと
●持ち上げるときは、ノブボルトを必ず締めて固定すること
ひじ掛けが破損し、落下してけがをする恐れがあります。

使いかた

こんな使い方ができます

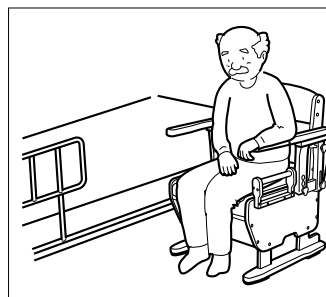
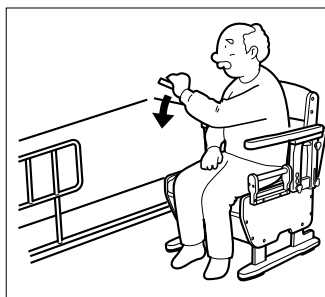
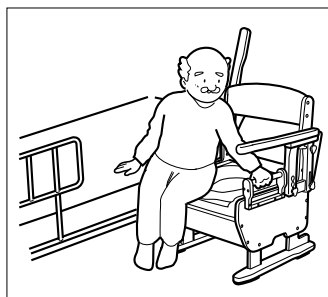
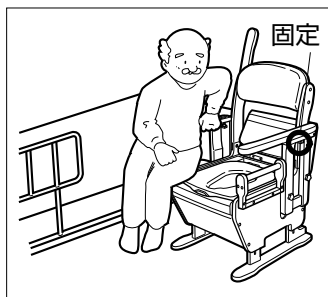
●立ち上がって移乗ができる場合

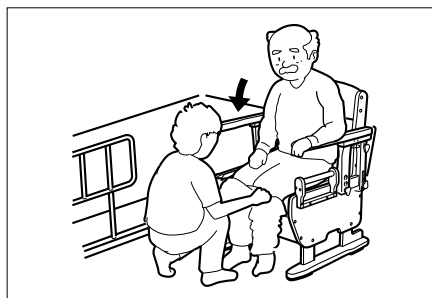
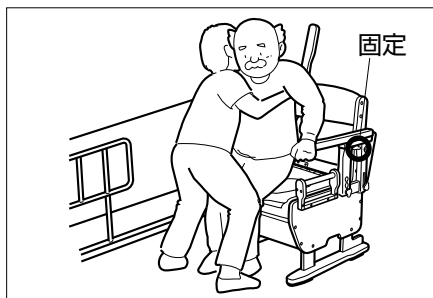
ひじ掛けをはね上げた状態でベッドの移動用バーを持ちながら立ち上がって移乗し、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。

●立ち上がれないが座位移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で短ひじ掛けを持って身体を引き寄せながらトイレに移乗し、さらにアシストグリップをつかんで身体を便座の中央まで引き寄せ、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。

短ひじを持って体をポータブルトイレへ引き寄せる

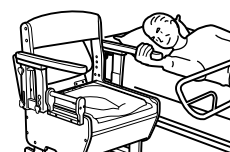
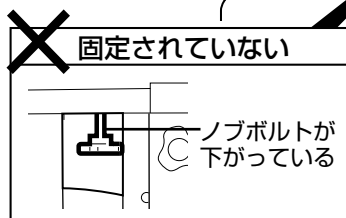
アシストグリップやひじ掛けを支えに体をさらに引き寄せ、移乗する

移乗後はひじ掛けを一番下まで降ろす

●介助される方が補助して移乗させる場合

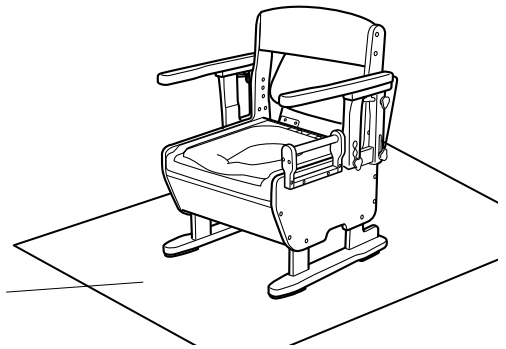
ひじ掛けをはね上げた状態で身体を支えてトイレに移乗させ、ひじ掛けを下ろして使用できます。

⚠注意

ひじ掛けをはね上げずに使用する場合や、ひじ掛けに全体重がかかるような強い力が加わる場合は、ひじ掛けをノブボルトで固定しておくこと
ひじ掛けの破損の原因になります。

以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること

※ひじ掛けを支えに起き上がるとき

※ひじ掛けを支えに立ち座りするとき

使いかた

より快適にご使用いただくために

便座に座る前に用便されてしまう場合もあります。
「両面すべり止め付き消臭・防水マット」（別売品）
「ポータブルトイレ用消臭・防水シート」（別売品）
を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。

※付属の防臭アイテムのほかにも、さまざまな防臭アイテムをご使用いただけます。（別売品）

●消臭剤フォームタイプ

水の表面を泡が覆い、防臭効果を長時間持続します。

●ポータブルトイレ用防臭剤22

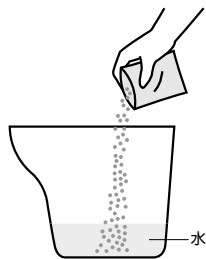
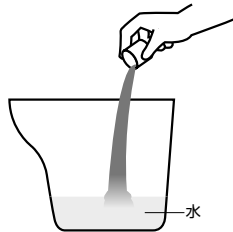
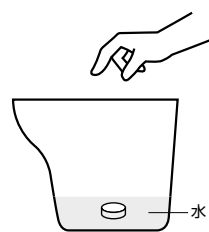
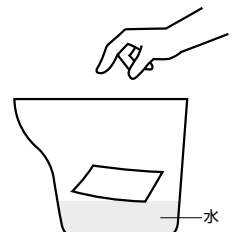
取り扱いやすい粉末状タイプです。

●ポータブルトイレ防臭液

水に溶けやすい液状タイプです。

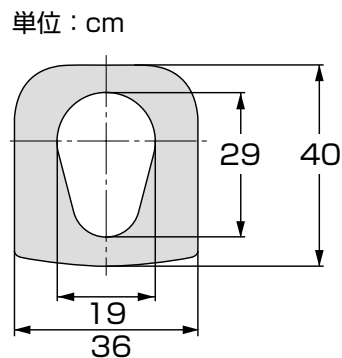
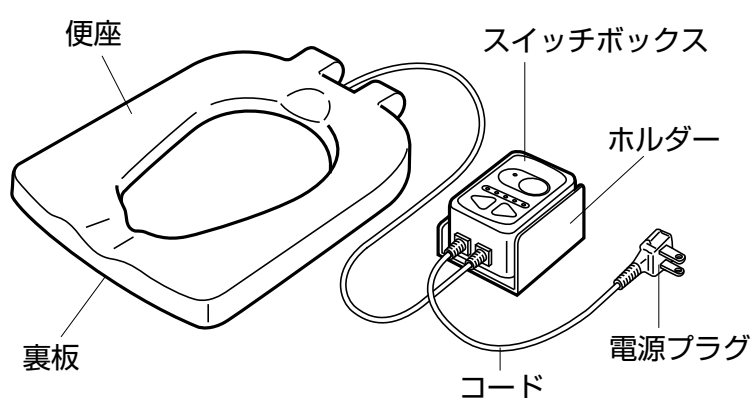
●ポータブルトイレ・尿器用防臭錠

1錠入れるだけの錠剤タイプです。

●消臭シート

水に入れるとサッと溶けるシート状タイプです。

暖房便座

暖房便座仕様をお買い上げのお客様はご確認ください

各部のなまえ

電気代について

●標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。1日24時間通電した場合、1日当り約10円。
1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kwh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

■仕様

品名	KX暖房便座	
材質	便座・裏板	ポリプロピレン
	スイッチボックス・ホルダー	ABS
商品サイズ	幅36×奥行43.6×高さ4cm	
定格	交流100V-53W	
表面温度	温度調節範囲約30～40℃	
発熱体	チュービングヒーター	
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）	
安全装置	温度ヒューズ	
重量	約1.2kg	

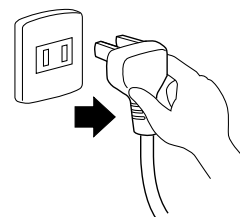
安全上のご注意（暖房便座）

使用上のご注意（暖房便座仕様のみ）

必ず実行すること

⚠警告

電源プラグのほこり等は定期的に取り除くこと
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

長期間使用しないときやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと
コンセントから抜くときは、手が濡れていないことを確認し、
コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏表紙のお客様相談室にご連絡ください。

製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

お年より・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するときは、
周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になるときは、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

⚠注意

長期間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

安全上のご注意（暖房便座）

使用上のご注意（暖房便座仕様のみ）

絶対にしないこと

⚠警告

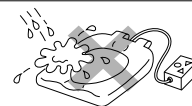
絶対に分解・修理・改造をしないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。

電源プラグ・コードを破損するようなことをしないこと
また、電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと
下記のことを行うと、電源プラグやコードが傷つきます。

・重いものを載せる　・ドアのすき間などに挟む
・加工する　・折り曲げる
・熱器具に近づける　・引っ張ってポータブルトイレを移動させるなど、コードを無理に引っ張る

電源プラグやコードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

暖房便座・スイッチボックス・電源プラグに小便や水をかけないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

湿度の高い場所で使用しないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと
スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・上蓋を取り外さないこと
故障・破損の原因になります。
故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

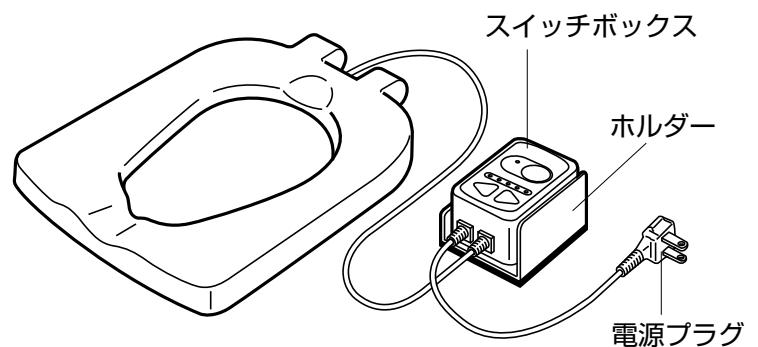
⚠注意

便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

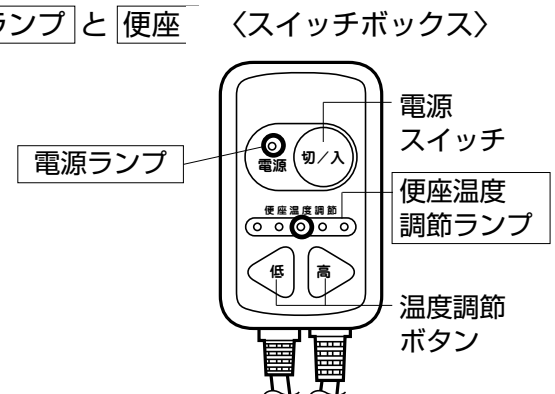
便座カバーはつけずに使用すること
暖房便座は便座カバーが取り付けられる構造となっておりません。

組みたてかた・使いかた

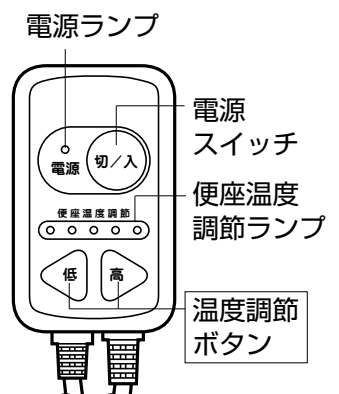
1 暖房便座のスイッチボックスを本体に固定する

●スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右のどちらにでも固定できます。

①ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
②ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
　この際、本体のポケットなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
③スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

2 温度調節の方法

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り 電源ランプ と 便座温度調節ランプの中央ランプ が点灯します。

〈スイッチボックス〉

②(高)(低) ボタンを押すとランプ表示が切換わり、便座表面の温度調節ができます。
③お好みの温度に調節してください。
　※最低約30℃、最高約40℃（室温5℃のとき）の範囲で5段階に調節できます。

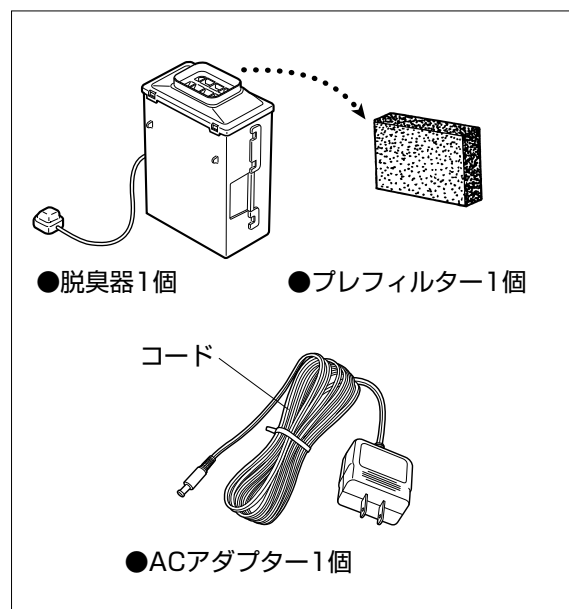
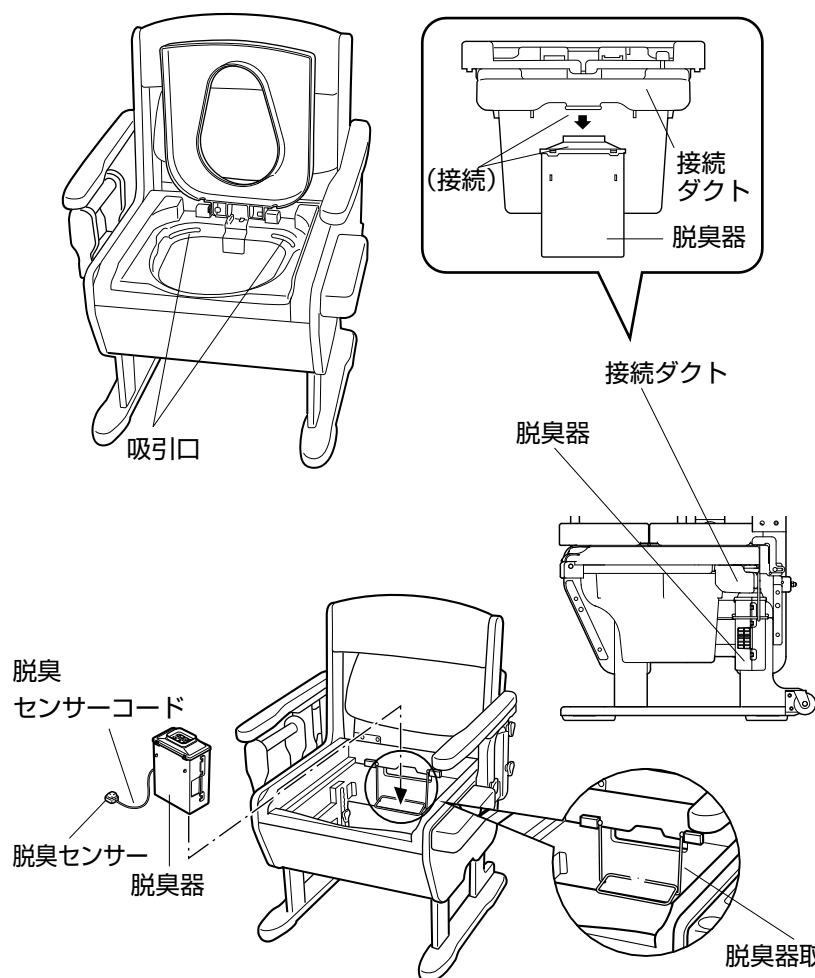
警告

●長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

注意

●スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと
●スイッチボックスをホルダーに固定したまま受け板を持ち上げないこと
故障・破損の原因になります。

快適脱臭

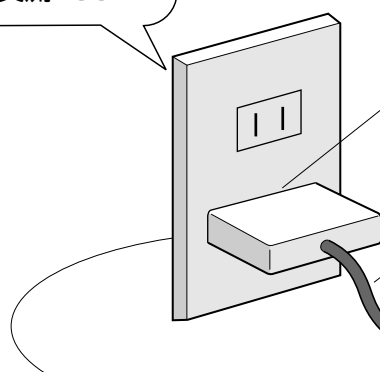
快適脱臭仕様をお買い上げのお客様はご確認ください。

各部のなまえ

※接続ダクト、脱臭器取り付け用枠は本体に組み付けられています。

■仕様

脱臭器		
材質	本体	ポリプロピレン
	接続ダクト	ポリエチレン
	プレフィルター	ポリウレタン
	吸着材	触媒配合ハニカム活性炭
	脱臭器取り付け用枠	ステンレス
商品サイズ	幅13.5×奥行8.5×高さ19cm	
重量	約0.7kg	
電源	AC100V（50/60Hz共用） DC12V（ACアダプター使用）	
消費電力	約5W	
脱臭方法	吸着脱臭方式	
吸着材寿命	約7年（1日1時間使用した場合）	
動作	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止	
コード長	約1.9m	

安全上のご注意（快適脱臭）

使用上のご注意(快適脱臭仕様のみ)

必ず実行すること

⚠警告

電源プラグのほこり等は定期的に取り除くこと
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

長期間使用しないときやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと
コンセントから抜くときは、手が濡れていないことを確認し、コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜くこと
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏表紙のお客様相談室にご連絡ください。

製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

⚠注意

長期間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

快適脱臭をご使用の場合、無香料の防臭アイテムを使用すること
脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

接続ダクトは本体・脱臭器としっかり接続してあることを確認すること
吸引口に異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

絶対にしないこと

⚠警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。

安全上のご注意（快適脱臭）

使用上のご注意（快適脱臭仕様のみ）

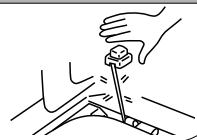
絶対にしないこと

⚠警告

電源プラグ・コードを破損するようなことをしないこと
また、電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと
下記のことを行うと、電源プラグやコードが傷つきます。
・重いものを載せる　・ドアのすき間などに挟む　・加工する　・折り曲げる
・熱器具に近づける　・引っ張ってポータブルトイレを移動させるなど、コードを無理に引っ張る
電源プラグやコードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

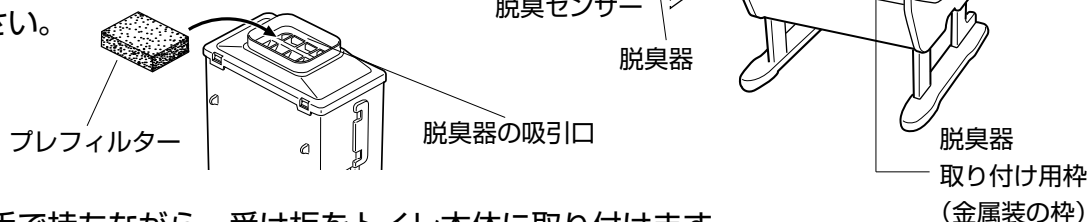
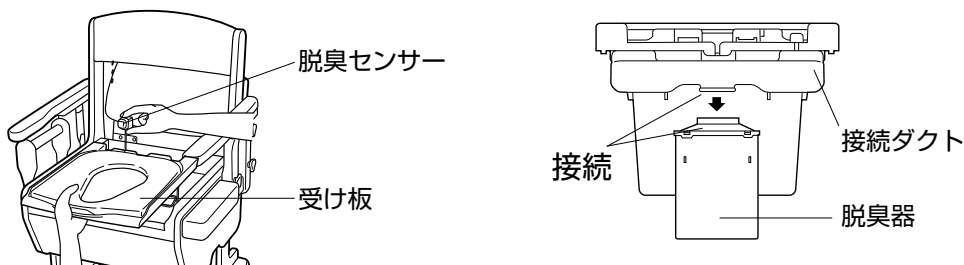
脱臭器・脱臭センサー・電源プラグに小便や水をかけないこと 感電、ショート、火災の原因になります。	**脱臭器の排気口に物や手を入れないこと** 回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。 また、ファンの故障の原因になります。
湿度の高い場所で使用しないこと 感電、ショート、火災の原因になります。	**専用のACアダプター以外は使用しないこと** 感電、ショート、火災の原因になります。

⚠注意

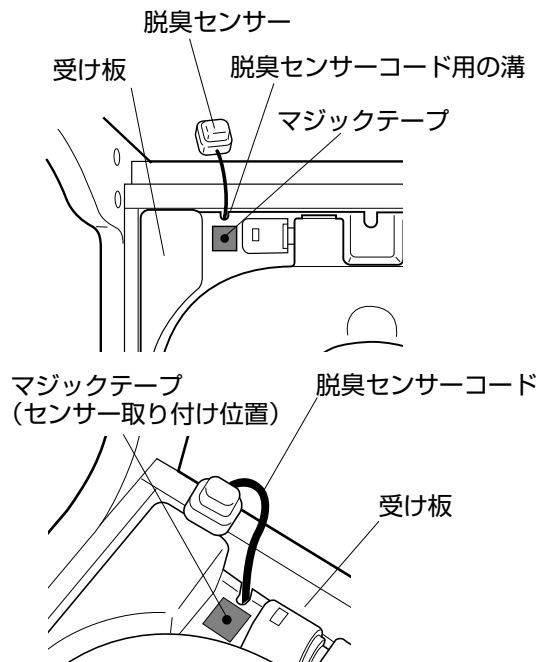
脱臭センサーや脱臭センサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、脱臭センサーや脱臭センサーコード、脱臭器の蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、脱臭センサーに手をそえて持ってください。

組み立てかた

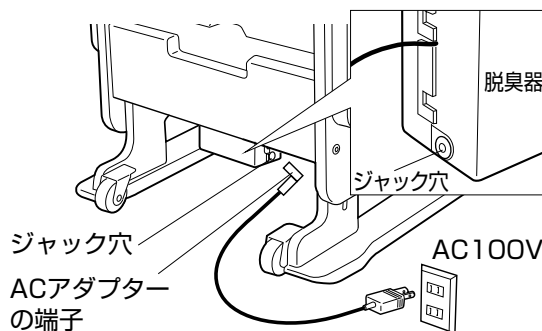
1　脱臭器を取り付ける

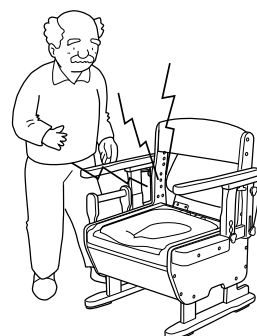
①折れ座面を開けて、受け板を本体から外してください。

②脱臭器をトイレ本体の内側に取り付けます。
脱臭器の吸引口を上方に向け、脱臭センサーコードが向かって左側にくるようにトイレ本体内部に取り付けられた金属製の枠に脱臭器を差し込んでください。
※プレフィルターが外れた場合は、脱臭器の吸引口に再度セットしてください。

③脱臭センサーを片手で持ちながら、受け板をトイレ本体に取り付けます。
※初めに、受け板の後方を本体に当ててから取り付けると簡単に取り付けできます。
このとき、接続ダクトの中央の穴と、脱臭器の吸引口が接続されていることを確認してください。

⚠ 注意
●接続ダクトはしっかり接続してあることを確認すること。また、異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

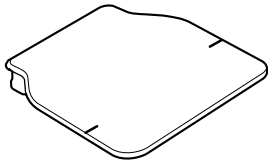
※脱臭センサーコードが、受け板の脱臭センサーコード用の溝を通るように注意してください。

④脱臭センサーを受け板のセンサー取り付け位置に取り付けてください。このとき脱臭センサーコードがセンサーの後側になるように取り付けてください。
脱臭センサーとセンサー取り付け位置にはマジックテープが付いており、簡単に着脱することができます。

⚠ 注意
●脱臭センサーを引っ張らないこと
●脱臭センサーを取り付けたまま受け板を持ち上げないこと
故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、脱臭センサーや脱臭センサーコード、蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、脱臭センサーに手をそえて持ってください。

⑤ACアダプターの端子を脱臭器本体の底にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター本体を、家庭用（100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると、脱臭器が運転を開始します。

2 脱臭センサーの感知

脱臭センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、脱臭センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。このようなときは、お体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。

トランスファーボード

トランスファータイプをお買い上げのお客様はご確認ください。

各部のなまえ

●トランスファーボード
1個

■仕様

	トランスファーボード
材　質	ポリエチレン
寸　法	幅38×奥行37×厚み1.2cm（ボード部）
重　量	約0.7kg

安全上のご注意

使用上のご注意　（トランスファータイプのみ）

⚠ 警告

必ず実行すること

移乗時にトランスファーボードと本体のすき間に指をはさまないように注意すること

トランスファーボードは必ず衣類などを着用して使用すること
直接皮膚が触れた状態でトランスファーボードの上を移動するとけがの原因になります。

⚠ 注意

絶対にしないこと

トランスファーボードはベッドからの移乗以外（車イスからの移乗など）に使用しないこと
トランスファーボードが外れ、転倒の原因になります。

トランスファーボードの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。

トランスファーボードを使用する場合、ベッドのギャッジ機能は使用しないこと
破損や転倒の原因になります。

組み立てかた・使いかた

●トランスファーボードは、ベッドとポータブルトイレのすき間を埋める移乗用ボードです。

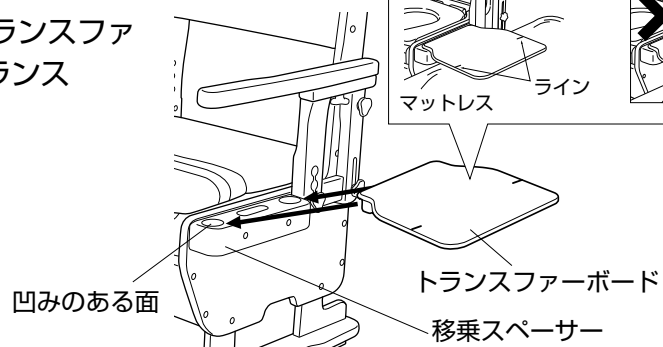
移乗スペーサーの凹部分にトランスファーボードの凸部分を差し込んでください。

※「移乗スペーサーを固定する（P.11）」でトランスファーボードを使用する固定を行った場合のみトランスファーボードの取り付けができます。

トランスファーボード天面のラインがベッドのマットレスを越えるまで、ポータブルトイレをベッドに近づけます。

凹みのある面

トランスファーボード

移乗スペーサー

いつまでも気持ちよくお使いいただくために。

お手入れの方法
交換部品
故障かな？と思ったら

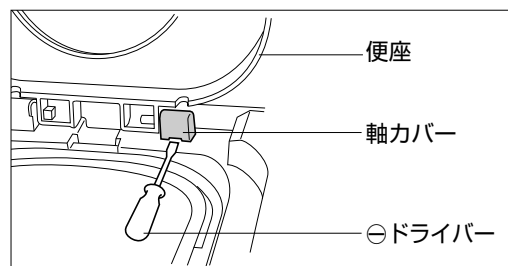
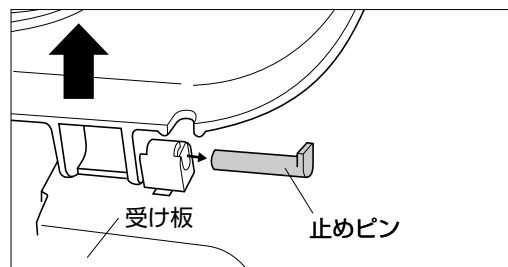
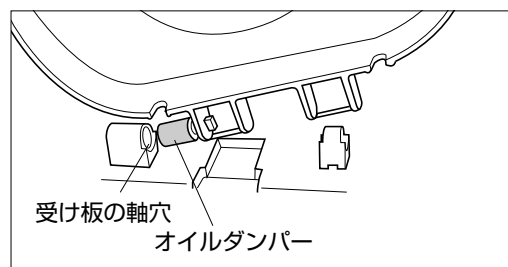
お手入れの方法

1 便座のお手入れ方法

●便座は、お手入れや便座の取りかえを行うときに本体から取り外すことができます。

受け板から便座を取り外す方法

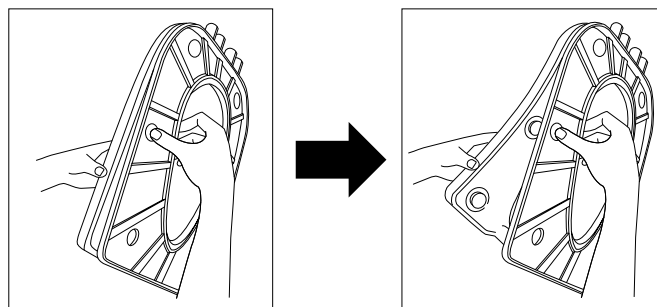
①折れ座面を開け、便座を上げてください。

②軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げてください。

③止めピンを抜き、便座を上げて外してください。

④最後に受け板の軸穴からオイルダンパーを抜き、便座を分解してください。

※組立てる場合は、④から逆の手順で行ってください。

ソフト便座を取り外す方法

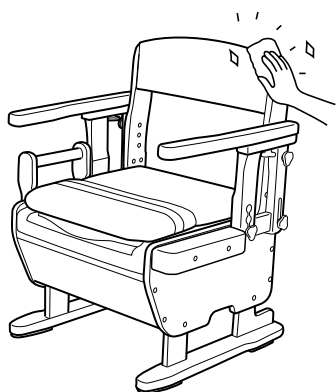
ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。
裏面の凸部を押して取り外してください。

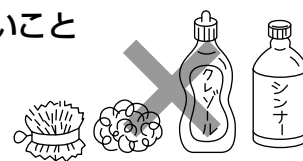
注意

●ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理にひっぱらないこと
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。

お手入れの方法

2 本体のお手入れ方法

いつものお手入れは

家具調トイレは木部に臭いが染みこむととれにくくなります。
いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
※暖房便座・快適脱臭をご使用の場合は、必ずお手入れの前に電源プラグを抜いてください。

注意

●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
木部の塗装がはがれたり、
プラスチックが劣化または破損し、
けがの原因になります。

少しひどい汚れは

便座・受け板は、本体から取り外し、水洗いすることができます。受け板から便座を取り外す時は、「便座のお手入れ方法」（P.26）の手順に従い取り外してください。

警告

暖房便座の場合
●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
感電やショートして火災の原因になります。

注意

暖房便座仕様の場合
●便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。

※快適脱臭の場合は、**3** をご覧ください。

お手入れの方法

3 脱臭器のお手入れ方法（快適脱臭の場合）

脱臭器のお手入れ

①ACアダプターを取り外し、折れ座面を開けて、脱臭センサーを受け板から外します。次に受け板をポータブルトイレ本体から外してください。

②脱臭器をポータブルトイレ本体から引き上げ取り外してください。

③接続ダクトは、汚れやほこりがたまりやすいので、時々ブラシ等で、ほこりを取り除いてください。また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。

④接続ダクトと脱臭器の間にあるプレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に１度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。

⑤脱臭器の取り付けは、22～23ページ「脱臭器を取り付ける」の項目を参照してください。

警告

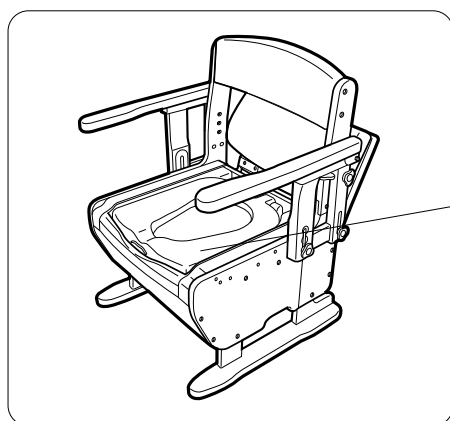
●お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜くこと
感電やショートして火災の原因になります。

注意

●脱臭器は水洗いしないこと
脱臭器の内部に水が入ると故障の原因になります。
●脱臭センサーコードを引っ張ったり、折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。

交換部品

ソフト便座は消耗品ですので、汚れたり、破損した場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせの上ご購入し、交換してください。

交換部品

KXソフト便座E

部品コード
591025

交換方法

P.26 ソフト便座の取り外し方法 を参照してください。

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

快適脱臭

こんなとき	調べるところ・原因	処　置
においが取れない	プレフィルターにほこりがつまっていませんか	プレフィルターの掃除をする →P28
	受け板の吸引口、脱臭器排気口をふさいでいる物はありませんか	ふさいでいるものを取り除く
	接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されていますか	正しく接続する →P22・23
センサーに手をかざしても作動しない	センサーが汚れていませんか	センサーを掃除する
	ACアダプターは確実に差し込まれていますか	ACアダプターを差し込みなおす →P23
人がいないのに作動し続ける	座面は開いていませんか	座面を閉じる

暖房便座

こんなとき	調べるところ・原因	処置
電源スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか	電源プラグを差し込みなおす →P19
便座があたたかくない	電源が 「切」 になっていませんか	電源を「入」にする
	設定温度が低くなっていませんか	設定温度を高くする→P19
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか	設定温度を低くする→P19
電源ランプが点滅し、便座があたたかくない	異常を感知し、自動回路遮断が作動しています。	お買い上げの販売店にご相談ください。

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちにコンセントを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

●木製部分は天然素材なので、色や木目はカタログ等と多少異なる場合がありますのでご了承ください。
●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

12.06

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月〜金 9:00〜17:00
（12:00〜13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL(03)3502-1448
FAX(03)3502-1452

東京支店	☎(03)3502-1422	仙台支店	☎(022)291-5475
大阪支店	☎(06)6448-5127	広島支店	☎(082)245-7100
名古屋支店	☎(052)203-0396	札幌営業所	☎(011)709-6011
福岡支店	☎(092)741-1411		

910793-2